

第13回（平成28年度第2回）
久留米市セーフコミュニティ推進協議会

《会議次第》

日時：平成29年2月9日(木)15:30～

会場：久留米商工会館 5階大ホール

1. 開 会

2. 挨拶

3. 報 告

(1) 平成28年度セーフコミュニティフェスタについて

(2) 平成28年度セーフコミュニティ標語について

(3) 毎月21日の一体となった取り組みについて

4. 協 議

(1) 重点取り組み6分野・10項目・48具体的施策について

5. その他

(1) 今後のセーフコミュニティ推進協議会・対策委員会のスケジュールについて

6. 閉 会

平成２８年度セーフコミュニティフェスタについて

セーフコミュニティの取り組みや、日常生活で実践できる「けがや事故」の予防策などを紹介するとともに、体験コーナーを設け、各分野のエキスパートがアドバイスをを行うセーフコミュニティフェスタを開催しました。

開催日

平成２８年１０月８日（土）１１時～１５時

会場

久留米シティプラザ 六角堂広場・２階展示室

同時開催

熊本地震をはじめ、近年の自然災害の発生を受け、久留米市防災協会連合会および久留米広域消防本部が主催する「ふれあい防災イベント」と同時開催しました。子どもたちや親子で楽しめる１５ｍ梯子車試乗体験・ちびっこレスキュー・高度救助隊の訓練展示などを実施しました。

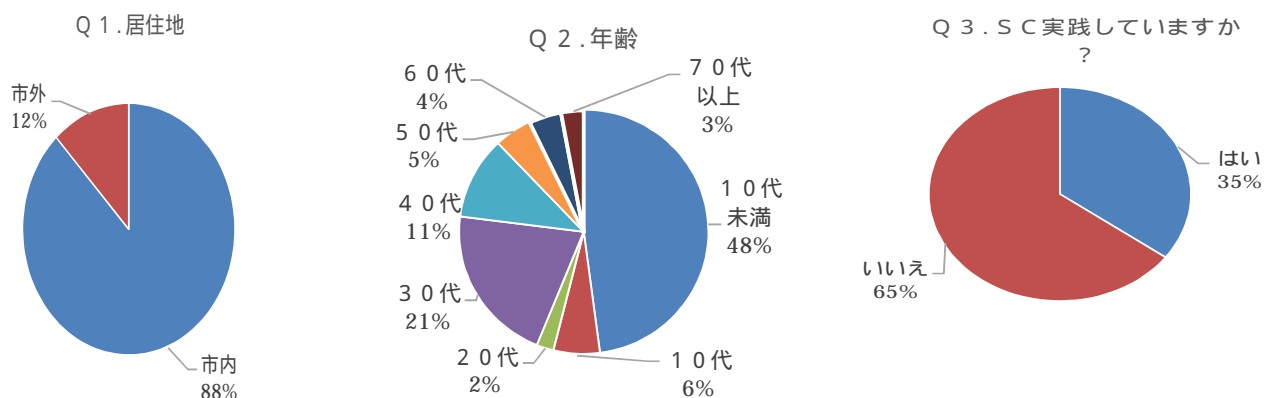
来場者数

約６，５００人

内 容

- ・セーフコミュニティ標語入選者表彰式
- ・転倒予防ミニレクチャー（作業療法士）
- ・自転車シミュレーター（本田技研工業㈱）
- ・ストレスチェック（市保健師）
- ・白バイやパトカー試乗、ミニ制服での写真撮影など

アンケート結果





セーフコミュニティ通信

No.15
H28.10



【交通安全】自転車シミュレーター

白バイ試乗



レッド号出動



ちびっこレスキュー



大盛況!

クイックタッチ

セーフコミュニティフェスタ

10月8日(土)久留米シティプラザで「セーフコミュニティフェスタ」を開催しました。フェスタでは、セーフコミュニティの取り組みや、日常生活でできる「けがや事故」の予防策を紹介する体験コーナーをはじめ、各分野のエキスパートの皆さんによるアドバイスなどで賑わいました。また、今年は「ふれあい防災イベント」との同時開催によって、「ちびっこレスキュー」や「15m梯子車試乗体験」ができ、会場は多くの子どもたちの笑顔と歓声に包まれました。



【自殺予防】だ液でストレスチェック



【児童虐待】オレンジリボン配布



【DV防止】しおり作り



【防災】AED操作



【高齢者の安全】転倒予防体操



【学校の安全】学校の取り組み紹介



【防犯】ニセ電話撃退法

発行元

久留米市セーフコミュニティ推進協議会
(事務局: 久留米市協働推進部 安全安心推進課)

〒830-8520 久留米市城南町 15-3
TEL: 0942-30-9094 FAX: 0942-30-9706
E-mail: anzen@city.kurume.fukuoka.jp

平成28年度セーフコミュニティ標語について

『身のまわりでおこる「けがや事故」は、予防や備えで減らすことができる』セーフコミュニティの取り組みを市民の皆様にも周知し、「けがや事故の予防策」や「安全安心まちづくり」への思いを標語にいただき、認知度向上及び取り組みの裾野拡大を図るため、今年度初めて「セーフコミュニティ標語」を募集しま

募集期間

平成28年7月1日(金)～平成28年8月31日(水) 62日間

応募資格

久留米市内に居住または通勤・通学している方

応募結果

393作品 305人

<内訳>

	小学生の部	中高校生の部	一般の部
応募数	206作品	27作品	160作品
応募人数	196人	24人	85人

選考方法

各対策委員会から代表者2名を選出し、合計16名の委員による「選考委員会(郵送による一次審査・本審査)」で、最優秀作品1点、優秀作品30点、計31点を選定しました。

作品の活用

- ・「セーフコミュニティフェスタ」で表彰式、応募者全員の作品を展示
- ・日めくりカレンダーにして関係団体へ配付予定(1,000部作成中)
- ・JR久留米駅ほとめき広場と市役所2階ホワイエに展示(12月)
- ・セーフコミュニティ通信での配信





セーフコミュニティ標語入選作品

「平成28年度久留米市セーフコミュニティ標語」に393作品の応募がありました。
入選作品に選ばれた31作品を紹介します。応募いただいた皆さんありがとうございました。



最優秀賞 (1点)

○手をのばそ 手をつなご 住みよいまちの第一歩 伊藤 三枝子 南4丁目



優秀賞 (30点)

- よく見ろよ スマホじゃなくて身のまわり 田中 暁彦 荒木小学校 4年
- 思いやり 譲り合い 久留米愛 牧 美咲 荒木小学校 5年
- その言葉 言っていていいか 考えて 中原 桜子 北野小学校 5年
- 友達と 注意しあって 登下校 中野 広大 善導寺小学校 5年
- 命はね 1人に1つ 大切に 斉藤 千歩 善導寺小学校 5年
- 気をつけて その言葉で 救われる 黒岩 美沙 善導寺小学校 5年
- 帰り道 家が見えても 気をぬくな 宮原 康希 善導寺小学校 5年
- あぶないよ 歩きスマホは じこのもと 田島 瑞歩 善導寺小学校 5年
- 考えよう 自分の行動 周りの気持ち 迫田 万鈴 山川小学校 6年
- そのわき見 だれかの命うぼうかも 磯野 智哉 御井小学校 6年
- あいさつで みんなと心の 手をつなごう 田島 資也 御井小学校 6年
- 死なないで 伝えてほしい いやなこと 丹下 紗希 善導寺小学校 6年
- さぎ電話 信じる前に 確かめて 末次 蓮 善導寺小学校 6年
- 命はね あなたに一つ 宝物 高木 渚世 善導寺小学校 6年
- 暴力は 自分の心も きずつける 坂本 理紗 善導寺小学校 6年
- 夜の道 見えていないよ 黒い服 深町 友里加 善導寺小学校 6年

- その運転 みんなの前で できますか 永松 和哉 田主丸中学校 2年
- 防災で 大切なのは 日頃の備え 緒方 泉水 久留米商業高等学校 2年
- 辛い時 人に話せば 楽になる 村井 利帆 明善高等学校 2年

- 待つ心 ゆずる気持ちで 防ぐ事故 池田 晴弘 山川町
- 慣れた道 思わぬ所に 落とし穴 重松 昭俊 小都市
- 声かける あなたの 思いに つながる笑顔 相園 哲 中央町
- 久留米っ子 みんなで見守り 育てよう 上野 和子 原古賀町
- 安全は無理せず 焦らず 間をおく ゆとり 城戸 恒男 高野1丁目
- どうしたの? 声かけ 気をかけ 心添え 瀬戸島 多恵子 津福本町
- 育てよう 危険を見つける 予防の目 高尾 純奈 田主丸町菅原
- 住みたいな 心豊かに 育つ町 原武 和子 江戸屋敷1丁目
- ほっとする住みよい久留米 あなたが主役 淵上 頼子 田主丸町中尾
- 災害の 備えがあれば 守れる命 相園 哲 中央町
- STOP DV 始めよう住みやすい街づくり 石隈 友美 御井町

毎月２１日の一体となった取り組みについて

取り組みの裾野拡大を図るために、平成２７年度第２回セーフコミュニティ推進協議会において、国際認証取得日にちなみ毎月２１日を、全市一斉にセーフコミュニティ活動に取り組む日と決定しています。

この決定から１年が経過するため、１月１２日に発送いたしました「セーフコミュニティ推進協議会の開催案内」の折に、改めて「毎月２１日の一体となった取り組みについて」の依頼文を同封させていただいております。皆様の所属団体におかれましても、更なる取り組みへのご協力をお願いいたします。

取り組みの具体例

すでに、「けがや事故」の予防や「安全安心の取り組み」を行っている団体につきましては、実践日を２１日に変更していただいたり、新たな取り組みを検討されている団体につきましては、２１日に下記のような取り組みを実施していただきますようお願いいたします。

なお、当事務局（安全安心推進課）より、教材（ＤＶＤ）や資料・啓発物を提供いたします。

- ・防犯パトロールや防犯対策の環境整備（青パト、見守り活動など）
- ・セーフコミュニティに関する学習会等の企画や関連イベントへの参加
- ・取り組み団体としてのＰＲ（タペストリー設置や広報紙への記事掲載等）
- ・家庭や職場などの安全点検（けがや事故・災害の予防等）の実施と改善
- ・通勤時などの交通安全（自動車や自転車運転、夜間歩行等）の呼びかけ

など

（参考）市役所では、毎月２１日に下記のような取り組みを行っています。

- ・来庁者へ「けがや事故」の予防を呼びかける館内放送
- ・緊急告知ＦＭラジオの自動起動の確認
- ・朝の登校時の青パトによるパトロール
- ・セーフコミュニティ通信の配信

活動の報告

所属団体内で実践している「けがや事故」の予防の取り組み（２１日の取り組みも含めて）を集約し、今後開催するセーフコミュニティ推進協議会において報告する予定です。

28安第371号
平成29年1月12日

久留米市セーフコミュニティ推進協議会委員 各位

久留米市セーフコミュニティ推進協議会
会長 檜原利則
(事務局：協働推進部安全安心推進課)

毎月21日の一体となった取り組みについて（依頼）

日頃より「安全安心まちづくり」の推進に向け、委員の皆様におかれましては、様々な連携・協力をいただき誠にありがとうございます。

さて、久留米市が平成25年12月21日にセーフコミュニティ国際認証を取得してから丸3年が過ぎ、これまでの取り組み実績や成果を踏まえて、現在見直しを行っているところです。

これまでも、地域コミュニティ組織などを中心に、交通安全や防犯・防災活動等の取り組みがなされておりますが、「セーフコミュニティ」の認知度は、まだまだ低く、平成30年度の再認証に向けて更なる認知度向上・取り組みの裾野拡大を図っていかねばなりません。

そのような中、昨年度から毎月21日を全市一斉にセーフコミュニティ活動に取り組む日として、地域一体となった機運醸成を図っているところであります。委員の皆様の所属団体におきましても、更なる積極的な取り組みをお願いいたします。

【取り組みの具体例】

防犯パトロールや防犯対策の環境整備（青パト、見守り活動など）
セーフコミュニティに関する学習会等の企画や関連イベントへの参加
取り組み団体としてのPR（タペストリー設置や広報紙への記事掲載等）
家庭や職場などの安全点検（ケガや事故・災害の予防等）の実施と改善
通勤時などの交通安全（自動車や自転車運転、夜間歩行等）の呼びかけ



みんなで取り組む安全安心まちづくり
セーフコミュニティ国際認証都市 久留米市

<お問い合わせ>
協働推進部安全安心推進課
TEL0942-30-9094
FAX0942-30-9706

重点取り組み6分野・10項目・48具体的施策について

平成23年7月のセーフコミュニティ取り組み宣言にあたり、人口動態統計や救急搬送データ、各課が所有する様々なデータに基づき、重点取り組み6分野・10項目・48具体的施策を設定しています。

また、平成25年12月の国際認証取得からは、毎年度48具体的施策について各種データを活用し、実績・課題整理・改善を行いながら活動を実践しています。

平成28年度は、取り組み宣言から5年、国際認証取得から3年が経過することから、最新の人口動態統計や救急搬送データ、各種データの分析・検証・見直しなどを行いながら、更なる取り組みの強化を図っていきます。

重点取り組み6分野・10項目について

平成23年当初に6分野・10項目を設定する際に活用した「人口動態統計」「救急搬送データ」「けがや事故の実態調査」「市民意識調査」などの主要データや他の関連データを分析・検証した結果、「けがや事故、自殺」の件数等は減少傾向にあり一定の効果が出ているものの、「病気を除く死亡原因」「けがの種類」「けがをした場所」「不安に感じること」等の大きな傾向は取り組み開始と同様であった。

そこで、これまでの取り組み効果を更に確実なものにするために、現在の重点取り組み6分野・10項目を引き続き、継続して取り組むことといたしたい。

48具体的施策について

各課が所有する様々なデータの分析・検証と取り組みの成果や課題を把握して、具体的施策の整理を行うとともに、近年の社会情勢をふまえて新たな取り組みを追加することで、現在の48から42に見直し、平成29年4月から変更することといたしたい。



協議(1)

重点取り組み6分野・10項目 48具体的施策について



①重点取り組み6分野・10項目について

各種データを
紹介するっば



1. これまでの取り組み成果

※久留米市は、平成23年7月にセーフコミュニティの取り組みを始めました。

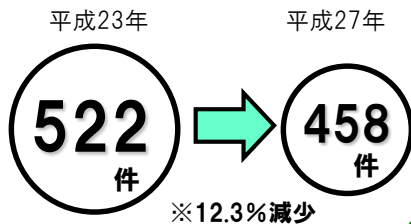
《交通安全》

シルバーセーフティスクール



中学校での自転車教室

【自転車事故件数】 出典:警察統計



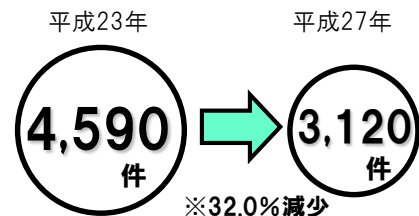
《犯罪・暴力の予防》

大型商業施設付近での合同パトロール



中学校でのデートDV防止の啓発講座

【一般刑法犯の認知件数】 出典:警察統計



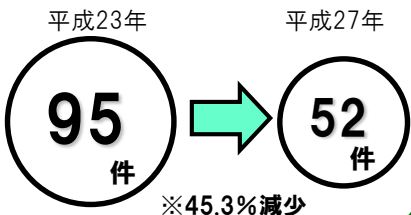
《子どもの安全》

けがの種類・場所をまとめた掲示板



校区内でのフィールドワーク

【上津小学校でのケガの発生件数】 出典:日本スポーツ振興センター統計

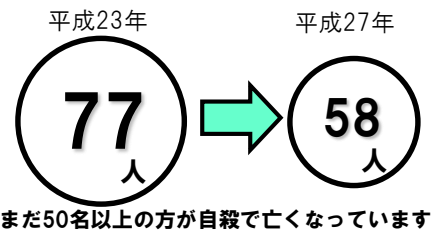


《自殺予防》

ゲートキーパーの養成講座



【自殺者数】 出典:人口動態統計

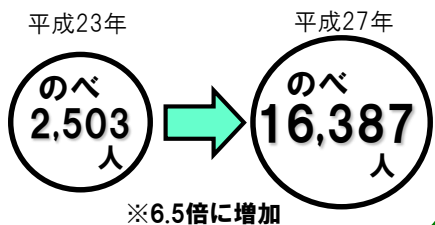


《高齢者の安全》

認知症サポーターの養成講座



【認知症サポーター養成講座受講者数】 出典:長寿支援課統計



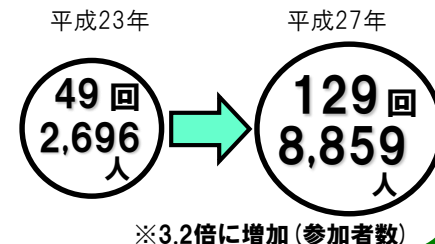
《防災》

AEDの取扱い講座



自主防災訓練の実施

【自主防災訓練の回数・参加者数】 出典:防災対策課統計

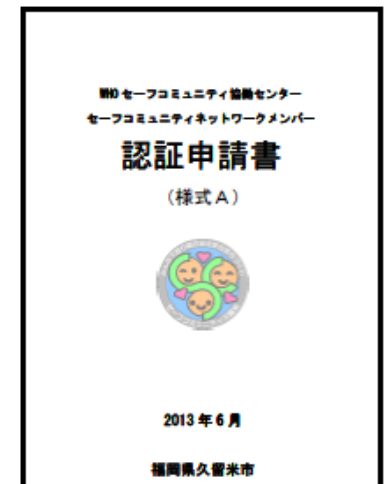


2. データ収集・分析

平成25年6月WHOセーフコミュニティ協働センターに提出した「認証申請書」のデータ及び各対策委員会所有のデータを収集し、分析を行う。

各種データ

- ア. 人口動態統計
- イ. 救急搬送データ
- ウ. けがや事故の実態調査
- エ. 医療機関によるアンケート
- オ. 市民意識調査 など



ア.人口動態統計 (出典:厚生労働省)

【病気を除く死亡原因】

平成19年～平成23年の5年間

平成22年～平成26年の5年間

年齢層	1位	2位	3位	4位	5位
0～9歳	溺死・溺水 (2)	交通事故他 (1)			
10～19歳	自殺 (8)	交通事故 (5)	転倒・転落他 (1)		
20～29歳	自殺 (38)	交通事故 (7)	溺死・溺水 (4)	煙・火他 (1)	
30～39歳	自殺 (59)	交通事故 (6)	中毒等 (4)	転倒・転落他 (2)	他殺 (1)
40～49歳	自殺 (59)	交通事故 (6)	中毒等他 (3)	溺死・溺水他 (2)	転倒・転落他 (1)
50～59歳	自殺 (86)	交通事故 (13)	溺死・溺水 (9)	窒息 (7)	その他不慮の事故 (6)
60～69歳	自殺 (56)	溺死・溺水 (14)	交通事故 (12)	窒息他 (10)	転倒・転落 (7)
70～79歳	溺死・溺水 (44)	自殺 (40)	窒息 (26)	転倒・転落 (25)	交通事故 (17)
80～89歳	溺死・溺水 (55)	窒息 (47)	その他不慮の事故 (28)	転倒・転落 (24)	自殺 (21)
90歳～	転倒・転落 (23)	窒息 (22)	溺死・溺水 (11)	その他不慮の事故 (8)	交通事故 (6)
全体	自殺 (369)	溺死・溺水 (143)	窒息 (115)	転倒・転落 (88)	交通事故 (84)

(人数)

年齢層	1位	2位	3位	4位	5位
0～9歳	溺死・溺水 (3)	交通事故 (2)	その他不慮の事故 (1)		
10～19歳	自殺 (7)	交通事故 (3)	転倒・転落窒息 (1)		
20～29歳	自殺 (31)	交通事故 (3)	溺死・溺水 (1)		
30～39歳	自殺 (51)	交通事故 (5)	溺死・溺水 (3)	転倒・転落中毒 (2)	窒息 (1)
40～49歳	自殺 (52)	その他不慮の事故 (7)	交通事故 (4)	窒息 (2)	煙・火中毒 (1)
50～59歳	自殺 (64)	交通事故 (13)	窒息 (10)	溺死・溺水 (9)	転倒・転落 (5)
60～69歳	自殺 (47)	溺死・溺水 (23)	交通事故 (16)	窒息 (15)	転倒・転落その他不慮の事故 (8)
70～79歳	自殺 (45)	溺死・溺水 (42)	窒息 (41)	転倒・転落 (22)	交通事故その他不慮の事故 (14)
80～89歳	溺死・溺水 (84)	窒息 (53)	転倒・転落その他不慮の事故 (27)	自殺 (25)	交通事故 (7)
90歳～	転倒・転落 (28)	窒息 (23)	溺死・溺水 (11)	その他不慮の事故 (8)	交通事故煙・火自殺 (1)
全体	自殺 (323)	溺死・溺水 (175)	窒息 (146)	転倒・転落 (91)	交通事故その他不慮の事故 (68)

(人数)

「認証申請書」P12より抜粋

人口動態統計の比較

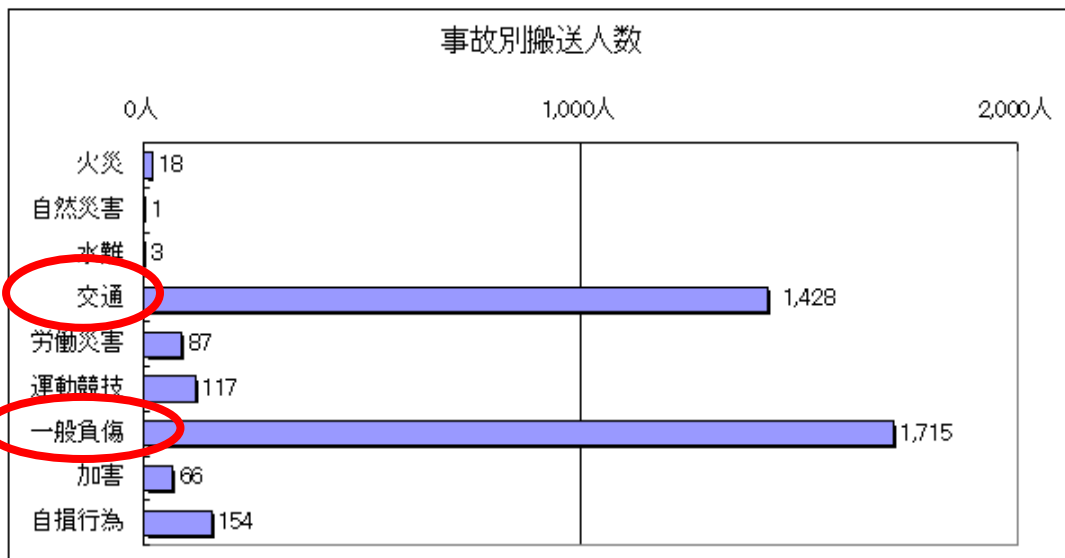
	平成19年～23年	平成22年～26年
分析	10歳～69歳までの年齢層で「自殺」が最も多く、若い年齢層では「交通事故」、高齢者では「溺死・溺水」「転倒」が多い。	10歳～79歳までの年齢層で「自殺」が最も多く、若い年齢層では「交通事故」、高齢者では「溺死・溺水」「転倒」「窒息」が多い。
データ比較	幅広い年齢層で「自殺」や「交通事故」が上位を占め、高齢になるにつれ「転倒」などが目立つ傾向は変わらない。	
課題	死亡にまで至らない外傷データを収集・分析する必要がある。	

参考資料P 7に詳細データがあるっば！

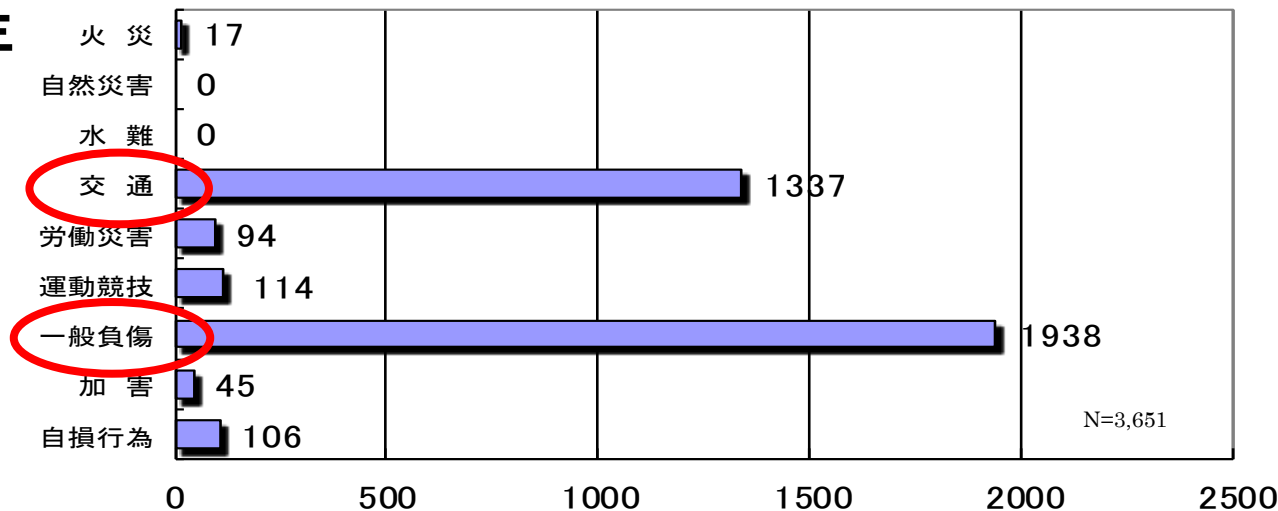


イ. 救急搬送データ (出典:久留米広域消防本部)「認証申請書」P13より抜粋

平成23年



平成27年



救急搬送データの比較

	平成23年	平成27年
分析	一般負傷が最も多く、次いで交通事故が多い。	一般負傷が最も多く、次いで交通事故が多い。
データ比較	交通事故による搬送件数はやや減少し、一般負傷はやや増加しているものの、「交通事故」「一般負傷」が他の件数と比較して、圧倒的に多い状況は変わらない。	
課題	救急搬送を必要としない比較的「中・軽度」な外傷データを収集する必要がある。	

比較的重度な
外傷データばい

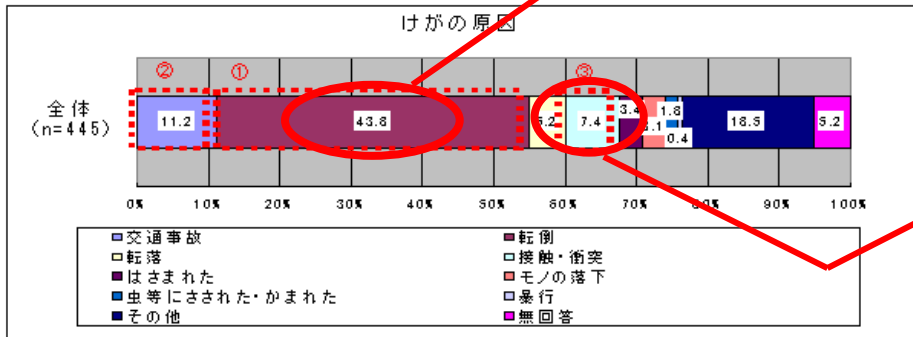


ウ. けがや事故の実態調査 (出典:久留米市)

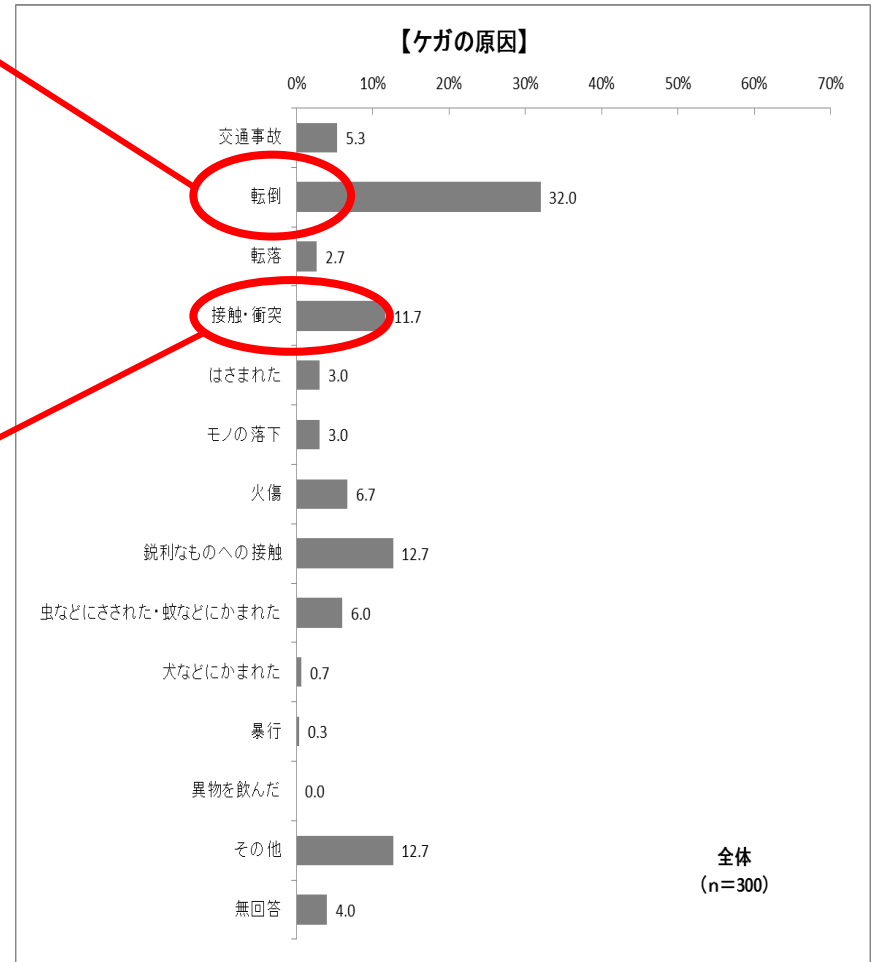
【けがの原因】

平成26年度

平成23年度



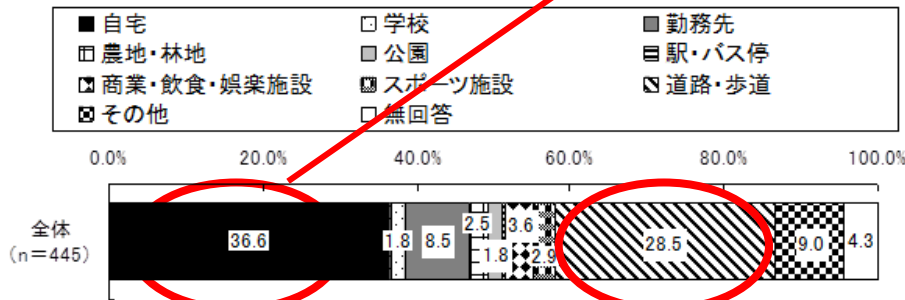
「認証申請書」P15より抜粋



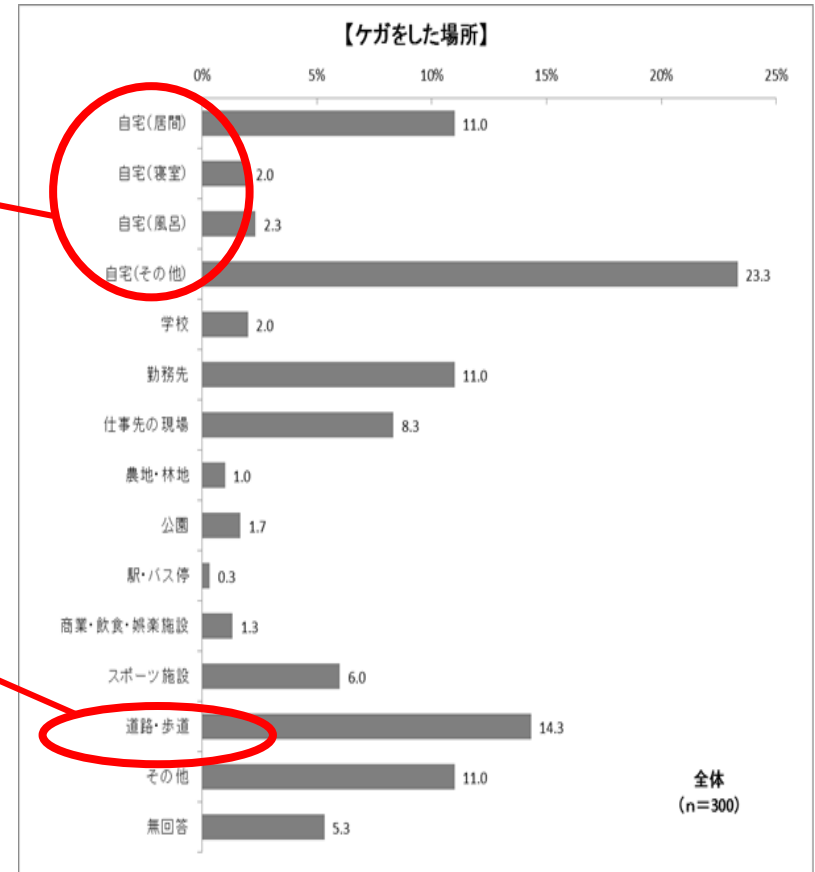
全体 (n=300)

【けがした場所】

平成23年度



平成26年度



けがや事故の実態調査の比較

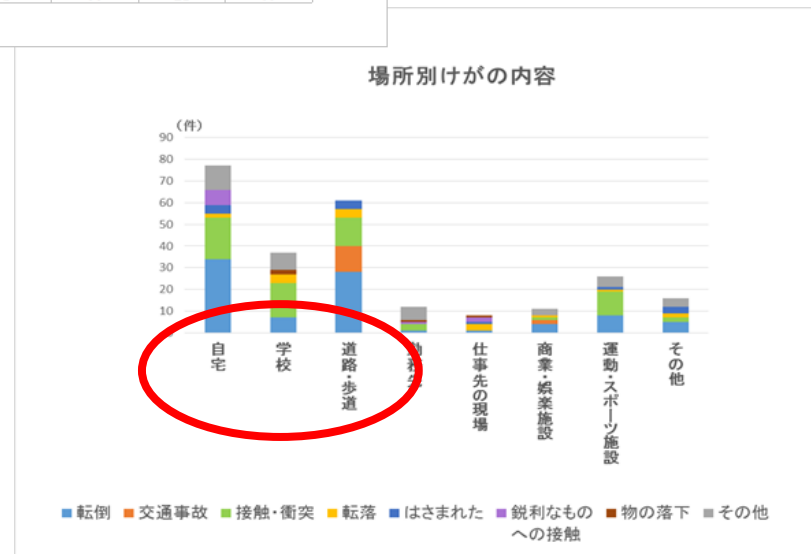
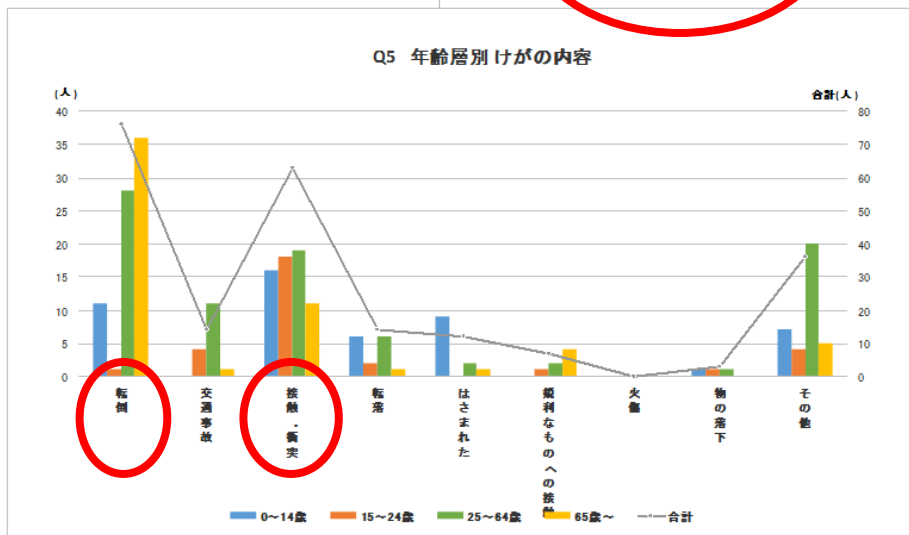
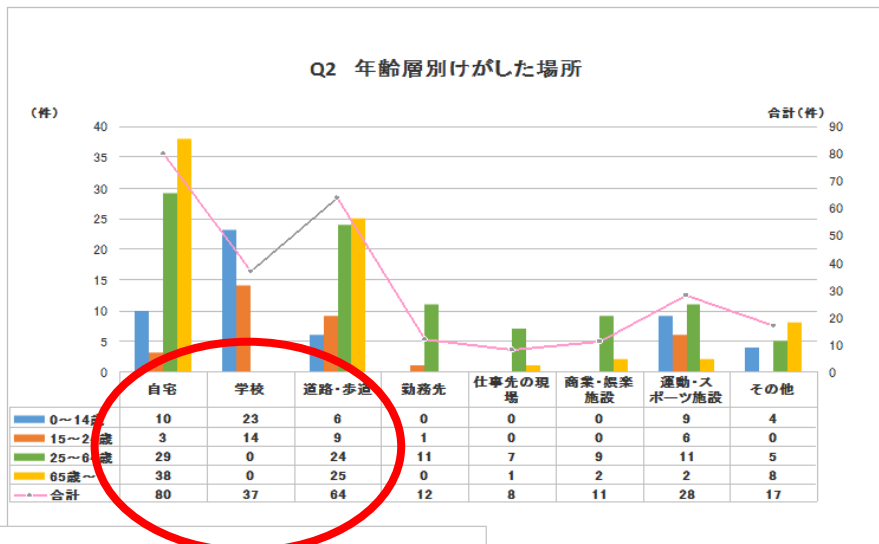
		平成23年度	平成26年度
分析	けがの原因	「転倒」・「交通事故」・ 「接触・追突」が多い。	「転倒」・「交通事故」・ 「接触・追突」が多い。
	けがした場所	「自宅」「道路・歩道」	「自宅」「道路・歩道」
データ比較	けがの原因・けがした場所の傾向は変わらない。		
課題	満20歳以上の男女を無作為に抽出しているため、子どものけがや事故が含まれていない。		

3年ごとに収集
しよるとばい



エ. 医療機関によるアンケート (出典:久留米市)

平成27年度



医療機関によるアンケートの分析

平成27年度

分 析

けがした場所は、「自宅」「学校」「道路・歩道」が大半を占めており、けがの内容は、「転倒」「接触・追突」が多い。

若年層では「学校」での「接触・追突」が多く、高齢者では「自宅」「道路・歩道」などでの「転倒」が多い。

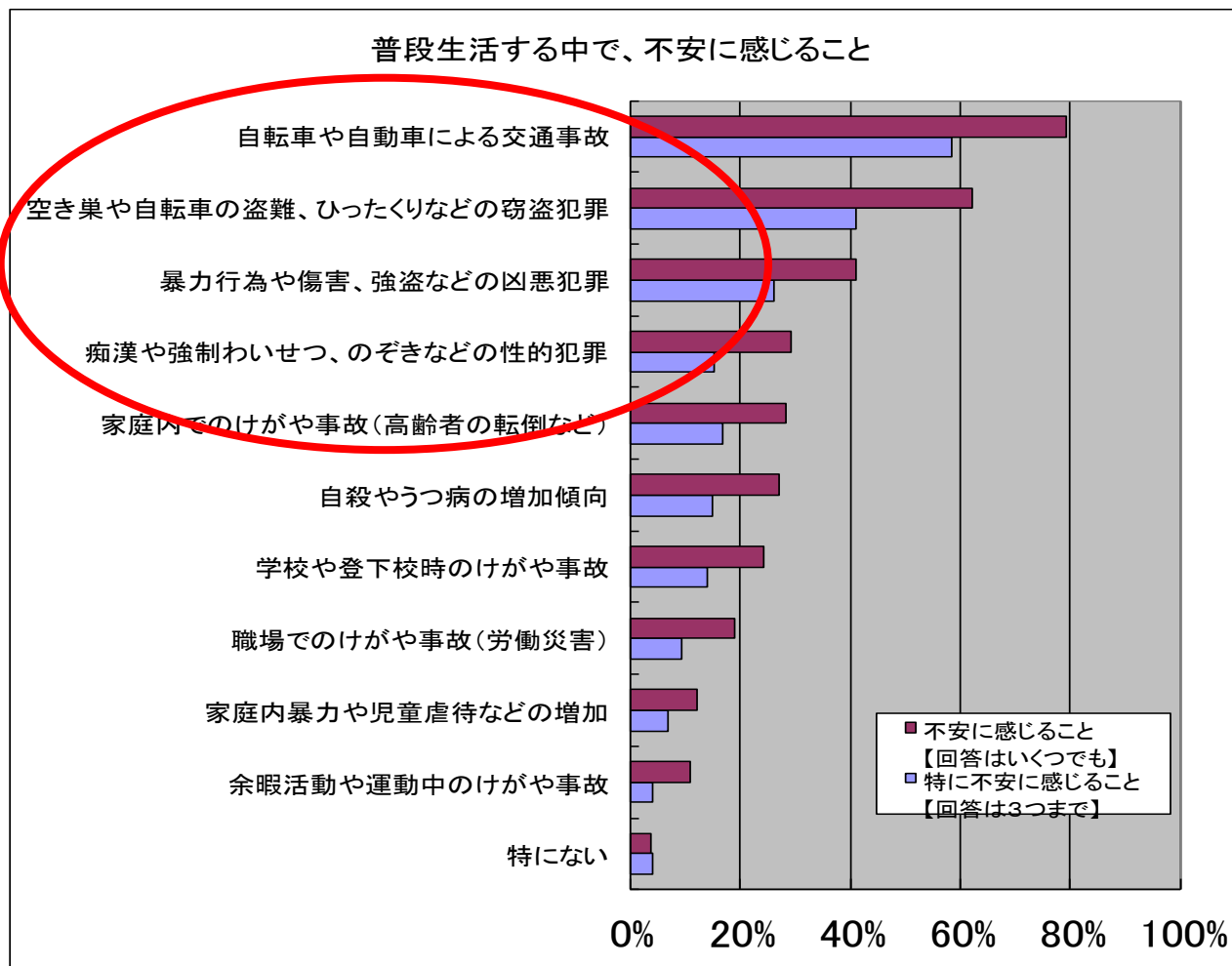
この結果は、前項の「ケガや事故の実態調査」と同様の結果である。

5 医療機関に
お願いしたよ



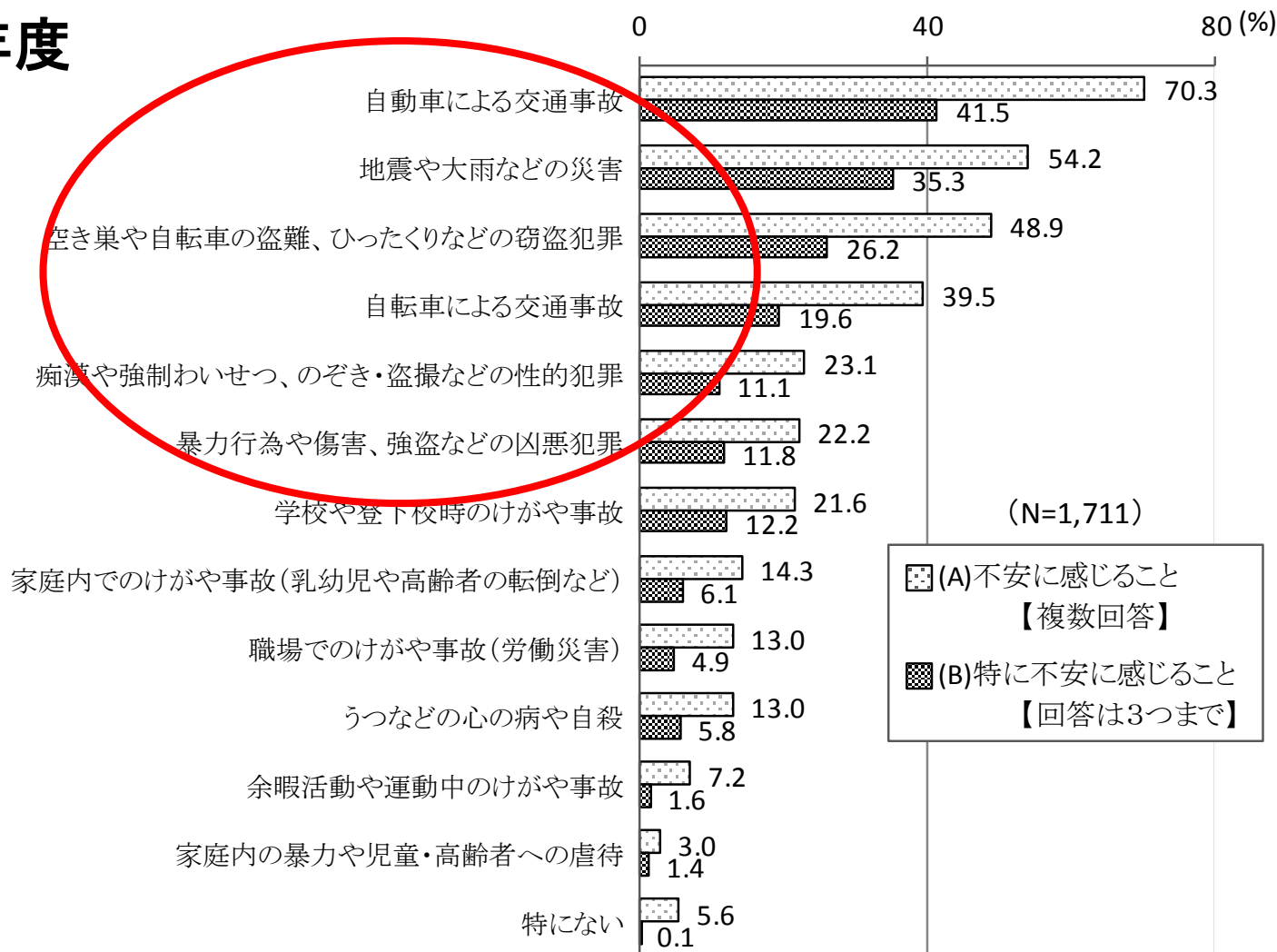
才. 市民意識調査 (出典:久留米市)

平成23年度



「認証申請書」P17より抜粋

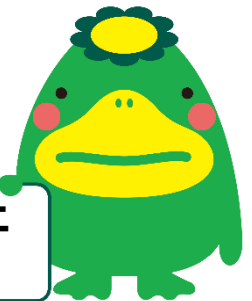
平成26年度



市民意識調査の比較

	平成23年度	平成26年度
分析	「自転車や自動車による交通事故」「空き巣や自転車の盗難、ひったくりなどなどの窃盗犯罪」が多い。	「自動車による交通事故」「地震や大雨などの災害」「空き巣や自転車の盗難、ひったくりなどの窃盗犯罪」が多い。
データ比較	「交通事故」を始め、「犯罪」に対する不安感は依然として高い。また、近年の自然災害を受け「災害」への不安感も高まっている。	

体感治安の向上も重要ばい



3.弱者グループを対象とした仕組み

指標3	ハイリスク集団と環境に注目した、弱者グループを対象とした仕組み
ハイリスクグループ	① 子ども(虐待の対象となりやすい)
	② 女性(DV被害の対象となりやすい)
	③ 高齢者(虐待や転倒でケガしやすい)
	④ 自殺のおそれがある者
	⑤ 要援護者(自然災害でリスクが高い)
ハイリスク環境	① 浸水想定地域がある
	② 土砂災害危険地域がある

4.重点取組み分野・項目

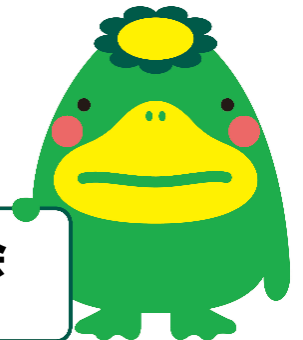
現在の6分野10項目を継続して取組むことといたしたい。

重点取組み6分野	重点取組み10項目
1. 交通安全	① 高齢者の交通事故防止 ② 自転車事故の防止
2. 子どもの安全	③ 児童虐待の防止 ④ 学校の安全
3. 高齢者の安全	⑤ 転倒予防 ⑥ 高齢者虐待の防止
4. 犯罪・暴力の予防	⑦ 犯罪の防止・防犯力の向上 ⑧ DV防止・早期発見
5. 自殺予防	⑨ 自殺・うつ病の予防
6. 防災	⑩ 地域防災力の向上

②48具体的施策について

これまで対象としてきた施策数を
48から42に見直し、**平成29年4月**
から変更するものとした。

各対策委員会
ごとに紹介



現在

1	高齢者の交通事故防止	実技型高齢者交通安全講習の実施
2		明るい服及び反射材の着用キャンペーンの実施
3		交通安全マップの作成
4	自転車事故の防止	交通安全教室の実施
5		自転車安全利用キャンペーンの実施



見直し(案)

1	高齢者の交通事故防止	運動能力や身体機能に着目した啓発・講習の実施
2		明るい服及び反射材の着用キャンペーンの実施
3		安全安心マップの作成
4	自転車事故の防止	交通安全教室の実施
5		自転車安全利用キャンペーンの実施

見直しのポイント

運動能力や身体機能に着目した啓発・講習の実施

高齢ドライバーによる加害事故が社会問題となる中、自主的な運転免許返納を検討するきっかけとなる啓発・講習の実施。

安全安心マップの作成

防犯の地域安全マップと統合して作成

現在

1	児童虐待の防止	乳児家庭訪問事業の地域連携
2		学校への出前サロン事業
3		子どもによるオレンジリボン作成



見直し(案)

1	児童虐待の防止	乳児家庭訪問事業の地域連携
2		赤ちゃんふれあい体験事業
3		児童虐待防止啓発事業

見直しのポイント

乳児家庭訪問事業の地域連携

母子手帳交付時における地域の主任児童委員の説明、必要なケースに応じた乳児訪問への同行を実施。

赤ちゃんふれあい体験事業

命の大切さを考える場を広げるため、小中学校における赤ちゃんふれあい体験・保育体験等の取り組みを実施。

児童虐待防止啓発事業

多くの方に児童虐待防止について認識してもらうため、講習会等の取り組みを実施。

現在

1	学校の安全	校舎内で安全に過ごす意識付けと実践化を図る校内環境づくり
2		楽しく安全な遊び方の紹介
3		実践的交通教室の実施
4		交通指導の実施
5		校区安全マップの作成と不審者対応の教育推進
6		校区安全マップを活用した防犯安全パトロールの実施
7		いじめの早期発見・早期対応の取り組みの実施



見直し(案)

1	学校の安全	(学校内)校舎内で安全に過ごす意識付けと実践化を図る取り組みの実施
2		(学校内)校舎外で安全に遊ぶ意識付けと実践化を図る取り組みの実施
3		(学校内)いじめの未然防止・早期発見・早期対応の取り組みの実施
4		(学校内)火災・地震等の災害から身を守る安全教育の実施
5		(登下校・放課後)交通安全教育の実施
6		(登下校・放課後)地域・保護者と連携した交通指導の実施
7		(登下校・放課後)防犯教育の実施
8		(登下校・放課後)地域・保護者と連携した防犯の取り組みの実施

見直しのポイント

モデル校の上津小学校の取り組みを全市的に広げ、各学校の現在の取り組みや地域の特性等を加味して実施。また、災害から身を守る教育を新たに追加実施。

現在

1	転倒予防	転倒に関するパンフレットの作成
2		介護状態にならないための予防事業の実施
3		健康、体力維持を目的とした地域活動への支援
4	高齢者虐待の防止	虐待や認知症に関する講演会・学習会の開催
5		認知症サポーター養成講座
6		介護サービス提供事業所向けの虐待防止研修
7		地域で高齢者を見守るネットワークの構築
8		家族介護教室の開催
9		ものわすれ予防検診



見直し(案)

1	転倒予防	転倒予防に関する普及・啓発
2		転倒予防のための健康づくり、体力維持、介護予防
3	高齢者虐待の防止	虐待や認知症に関する講演会・学習会の開催
4		介護サービス提供事業所向けの虐待防止研修
5		地域で高齢者を見守るネットワークの構築

見直しのポイント

転倒予防について

予防策を外部要因対策と内部要因対策の2つに集約した取り組みの実施。

高齢者虐待の防止について

上記3つに集約した取り組みの実施。

現在

1	犯罪の防止・防犯力の向上	自転車ツーロックの推進
2		小学校区毎の地域安全マップの作成
3		犯罪多発地域での合同パトロールの実施
4		安全・安心感を高めるための地域環境の整備
5		暴力団壊滅市民総決起大会等の開催
6		児童生徒、青少年への暴力団の実態や構成員になるのを防ぐための研修や啓発の実施



見直し(案)

1	犯罪の防止・防犯力の向上	自転車ツーロックの推進
2		青パト活動団体の拡大・連携強化
3		安全・安心感を高めるための地域環境の整備
4		暴力団壊滅市民総決起大会等の開催
5		児童生徒、青少年への暴力団の実態や構成員になるのを防ぐための研修や啓発の実施
6		犯罪弱者に対するタイムリーな情報発信・啓発

見直しのポイント

青パト活動団体の拡大・連携強化

青パトによる合同パトロールに加え、青パト活動団体の全校区への拡大。

犯罪弱者に対するタイムリーな情報発信・啓発

特殊詐欺やサイバー犯罪、性犯罪など、高齢者や女性など被害に遭いやすい傾向にある人への犯罪動向に応じたタイムリーな情報発信や啓発。

現在

1	DV防止・早期発見	男女共同参画・DV防止に関する啓発の充実
2		教育現場等における予防教育の充実
3		医療関係者に対する研修の強化
4		医療機関におけるDV被害者支援の取り組みの促進
5		子どもに関わる業務に携わる職務関係者に対する研修の充実
6		DV被害者の心理的・社会的な回復支援の検討
7		DV被害者の子どもへの理解を促すための研修
8		子ども向け電話相談の実施
9		DV被害者の子どもへの学習支援



見直し(案)

1	DV防止・早期発見	男女共同参画・DV防止に関する啓発の充実
2		教育現場等における予防教育の充実
3		医療関係者に対する研修の強化
4		子どもに関わる業務に携わる職務関係者に対する研修の充実
5		パープルキャンペーンの実施

見直しのポイント

DVの発生予防、被害者の潜在化防止（早期発見）の取り組みに着眼した、集中的な取り組みの実施。

パープルキャンペーンの実施

他のキャンペーンとも連携したDVの予防・防止の啓発・周知。

現在

1	自殺・うつ病の予防	ゲートキーパーの養成
2		かかりつけ医と精神科医の連携強化
3		自殺対策連絡協議会の実施
4		ワンストップサービス相談の実施



見直し(案)

1	自殺・うつ病の予防	ゲートキーパーの養成
2		かかりつけ医と精神科医の連携強化
3		自殺対策連絡協議会等と協働した普及啓発活動の実施
4		民間団体と協働した相談の実施
5		生活困窮者からの相談支援

見直しのポイント

自殺対策連絡協議会等と協働した普及啓発活動の実施

継続して開催している自殺対策連絡協議会の連携を強化を図りながら、自殺予防に向けた普及啓発。

民間団体と協働した相談の実施

ワンストップサービス相談だけではなく、心の相談カフェなど関係機関と連携した支援の実施。

生活困窮者からの相談支援

生活自立支援センターで受け付けた生活困窮者の自立を促すため、関係機関と連携した支援の実施。

現在

1	地域防災力の向上	定期的な防災研修・訓練・啓発の実施
2		防災に精通しているリーダーの育成
3		名簿登録推進にむけた積極的な情報提供
4		災害時要援護者個別支援計画作成
5		地域の避難計画を作成



見直し(案)

1	地域防災力の向上	定期的な防災研修・訓練・啓発の実施
2		防災に精通しているリーダーの育成
3		名簿登録推進にむけた積極的な情報提供
4		災害時要援護者個別支援計画作成
5		地域の避難計画を作成

見直しのポイント

昨年の熊本地震などの自然災害を踏まえた「地域防災計画」の見直しを考慮しながら、自助や共助の強化の視点で、取り組みの充実を図る。

具体的施策の見直し

重点取り組み分野 【6分野】	重点取り組み項目 【10項目】	対策委員会 【8組織】	No	具体的施策《変更前》 【48施策】		No	具体的施策《変更後》 【42施策】				
交通安全	高齢者の交通事故防止	交通安全対策委員会	1	実技型高齢者交通安全講習の実施	継続 継続(名称見直し) 継続 継続	1 -	運動能力や身体機能に着目した啓発・講習の実施				
			2	明るい服及び反射材の着用キャンペーンの実施		1 -	明るい服及び反射材の着用キャンペーンの実施				
	3		交通安全マップの作成	1 -		安全安心マップの作成					
	4		交通安全教室の実施	1 -		交通安全教室の実施					
	5		自転車安全利用キャンペーンの実施	1 -		自転車安全利用キャンペーンの実施					
子どもの安全	児童虐待の防止	児童虐待防止対策委員会	6	乳児家庭訪問事業の地域連携	継続	2 -	乳児家庭訪問事業の地域連携				
			7	学校への出前サロン事業		2 -	赤ちゃんふれあい体験事業				
			8	子どもによるオレンジリボン作成		2 -	児童虐待防止啓発事業				
	学校の安全	学校安全対策委員会	9	校舎内で安全に過ごす意識付けと実践化を図る校内環境づくり	継続 【新規】 モデル校の取組を継続しつつ、学校の特性も活かしながら、各校へ拡大	3 -	<学校内の安全指導>校舎内で安全に過ごす意識付けと実践化を図る取組の実施				
			10	楽しく安全な遊び方の紹介		3 -	<学校内の安全指導>校舎外で安全に遊ぶ意識付けと実践化を図る取組の実施				
			11	実践的交通教室の実施		3 -	<学校内の安全指導>いじめの未然防止・早期発見・早期対応の取組の実施				
			12	交通指導の実施		3 -	<学校内の安全指導>火災・地震等の災害から身を守る安全教育の実施				
			13	校区安全マップの作成と不審者対応の教育推進		3 -	<登下校・放課後の安全指導>交通安全教育の実施				
			14	校区安全マップを活用した防犯安全パトロールの実施		3 -	<登下校・放課後の安全指導>地域・保護者と連携した交通指導の実施				
			15	いじめの早期発見・早期対応の取り組みの実施		3 -	<登下校・放課後の安全指導>防犯教育の実施				
			16	転倒に関するパンフレットの作成		No18 に統合	4 -	転倒予防に関する普及・啓発			
			17	介護状態にならないための予防事業の実施			4 -	転倒予防のための健康づくり、体力維持、介護予防			
			高齢者の安全	転倒予防		高齢者の安全対策委員会	18	健康、体力維持を目的とした地域活動への支援	継続	4 -	虐待や認知症に関する講演会・学習会の開催
							19	虐待や認知症に関する講演会・学習会の開催		4 -	介護サービス提供事業所向けの虐待防止研修
				20			認知症サポーター養成講座	No19 に統合	4 -	地域で高齢者を見守るネットワークの構築	
21	介護サービス提供事業所向けの虐待防止研修	4 -		介護サービス提供事業所向けの虐待防止研修							
22	地域で高齢者を見守るネットワークの構築	No19 に統合									
23	家族介護教室の開催										
24	ものわすれ予防検診	削除									
犯罪・暴力の予防	犯罪の防止・防犯力の向上	防犯対策委員会	25	自転車ツーロックの推進	継続 No3 に統合	5 -	自転車ツーロックの推進				
			26	小学校区毎の地域安全マップの作成		5 -	青パト活動団体の拡大・連携強化				
			27	犯罪多発地域での合同パトロールの実施		5 -	安全・安心感を高めるための地域環境の整備				
			28	安全・安心感を高めるための地域環境の整備		5 -	暴力団壊滅市民総決起大会等の開催				
			29	暴力団壊滅市民総決起大会等の開催		5 -	児童生徒、青少年への暴力団の実態や構成員になるのを防ぐための研修や啓発の実施				
			30	児童生徒、青少年への暴力団の実態や構成員になるのを防ぐための研修や啓発の実施		5 -	犯罪弱者に対するタイムリーな情報発信・啓発				
	DV防止・早期発見	DV防止対策委員会	31	男女共同参画・DV防止に関する啓発の充実	継続 継続 継続 No33 に統合 継続 削除 No35 に統合 削除 削除 【新規】	6 -	男女共同参画・DV防止に関する啓発の充実				
			32	教育現場等における予防教育の充実		6 -	教育現場等における予防教育の充実				
			33	医療関係者に対する研修の強化(No34 と統合)		6 -	医療関係者に対する研修の強化				
			34	【欠番】医療機関におけるDV被害者支援の取り組みの促進(33 と統合)		6 -	子どもに関わる業務に携わる職務関係者に対する研修の充実				
			35	子どもに関わる業務に携わる職務関係者に対する研修の充実							
			36	DV被害者の心理的・社会的な回復支援の検討							
			37	DV被害者の子どもへの理解を促すための研修							
			38	子ども向け電話相談の実施							
			39	DV被害者の子どもへの学習支援							
自殺予防	自殺・うつ病の予防	自殺予防対策委員会	40	ゲートキーパーの養成	継続 継続 継続 【新規】	7 -	ゲートキーパーの養成				
			41	かかりつけ医と精神科医の連携強化		7 -	かかりつけ医と精神科医の連携強化				
			42	自殺対策連絡協議会の実施		7 -	自殺対策連絡協議会等と協働した普及啓発活動の実施				
			43	ワンストップサービス相談の実施		7 -	民間団体と協働した相談の実施				
						7 -	生活困窮者からの相談支援				
防災	地域防災力の向上	防災対策委員会	44	定期的な防災研修・訓練・啓発の実施	継続 「地域防災計画」の見直しを踏まえ内容の充実を図る	8 -	定期的な防災研修・訓練・啓発の実施				
			45	防災に精通しているリーダーの育成		8 -	防災に精通しているリーダーの育成				
			46	名簿登録推進にむけた積極的な情報提供		8 -	名簿登録推進にむけた積極的な情報提供				
			47	災害時要援護者個別支援計画作成		8 -	災害時要援護者個別支援計画作成				
			48	地域の避難計画を作成		8 -	地域の避難計画を作成				

